

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さわやか愛の家せとうち館		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		～ 2024年 10月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19人	(回答者数) 19人
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日		～ 2024年 10月 4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもと保護者の満足度の高さ	良かったことや成長が感じられることを伝えられるようにしている。 ちょっとした変化やケガなどもすぐに伝え、安心してご利用いただける環境を作る。 共感的関わりを意識して、楽しみながら利用できる場になるようにしている。	ひとりひとりに合わせた専門的な支援に取り組めるように、 従業者のスキルの向上をはかる
2	スペースが確保されていること	色々な活動によって空間を分ける。 片付けや整理整頓を行い、スペースを確保している。 様々なグッズを用意し、多様な活動ができるようにしている。	必要な構造化を進める。 こどもに分かり易く提示する。 片づけやすさも考えて設定する。 動線を意識する。 公園や図書館など、外部スペースの利用を積極的に行う。
3	様々な活動プログラム	こどものやりたいことを実現できるように留意している。 全員が経験を積み重ねできるようにしている。 季節に合わせた活動の立案をしている。 5領域とのつながりを考えて立案している。 活動を一緒に考えている。	やりたいことを実現するための機能を育てる。 より知識を高めるための研修や勉強の機会を持つ。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援の不十分さ (保護者会やペアレントトレーニング)	人員不足 スキル不足	来年度、計画的に実施できるように立案する。 法人全体で考える。 ブログなどで情報発信する。(ペアレントトレーニング等)
2	外部とのつながりが薄い。 (地域の他のこども施策との関わりなど)	人員不足 児童館など資源の不足 他事業所との関係が十分ではない	地域のイベントへの積極的な参加。 地域のひとに知ってもらうための情報の開示。
3	チームでの活動の立案と振り返りの不十分さ	人員不足 業務量の多さ 準備に時間がかかる それぞれの予定が合わず、接見できない。	デジタルで共有する機能の強化。 業務の優先順位付けと取捨選択。 PDCAサイクルの意識付け。